

丸山ダム見学&中山道太田宿ウォーキング開催！！

「9.28豪雨災害」から30年の節目の年を迎え、過去の豪雨災害を忘れることなく継承し、新たな災害への教訓とし、防災意識の向上を図るために、当時洪水調節を担った丸山ダムの見学と旧中山道太田宿の水害の跡地を巡るウォーキングを9月21日に開催しました。
見学会等は、当該地域内外含めて16名(大人11名、子供5名)の参加者で行われました。

【丸山ダム見学】



【ダム天端で丸山ダムの説明】

参加者からは、「丸山ダムの重要性を再確認しました」という意見がありました。
また、見学会の1週間前に台風10号に伴う出水があり、上流から流れてきた流木が多いことに参加者の方は驚いていました。

【中仙道太田宿ウォーキング】



【観光協会のボランティアによる旧跡の説明】



【被災した家屋の壁に貼られているS58洪水の浸水深の記録を見学】



【美濃加茂市職員の説明】

当時災害復旧に携わった体験談を聴きました。



【普段は公開されていない「重要文化財旧脇本陣林家住宅」の見学】

当主から被災体験や被災後の地域社会の変化を聴きました。